

平成二十二年三月二日受領  
答弁第一四九号

内閣衆質一七四第一四九号

平成二十二年三月二日

内閣総理大臣 鳩山由紀夫

衆議院議長 横路孝弘殿

衆議院議員橘慶一郎君提出日本海における「寄り回り波」の原因究明と防災対策に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員橘慶一郎君提出日本海における「寄り回り波」の原因究明と防災対策に関する質問に対する答弁書

一について

御指摘の「寄り回り波」に関しては、日本海北部を中心とする海域において、発達した低気圧による北からの強い風により、南向きの風波及びうねりが発達し、これらが日本海を南下して富山湾に達した場合に、富山湾特有の起伏に富んだ海底地形の影響により、富山湾では局所的に高波が発生すること等が、これまで明らかになっていると認識している。

二について

気象庁としては、御指摘の「寄り回り波」に関して予報を行うことができる可能性はあると考えており、これまでに得られた科学的な知見に基づき、予報手法の検証を進めているところである。

三について

お尋ねの海岸事業としては、国が下新川海岸において、また、富山県が雨晴海岸、滑川漁港海岸等の八海岸において、高波対策等の事業を実施しているところである。

また、お尋ねの港湾事業としては、国が伏木富山港（伏木地区）において防波堤事業を実施しているところである。